

大垣西高校 『ライラック』

◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽

大垣西高校は「演技が素晴らしかった賞」です。

シリアスなお話だったけれど、合唱部の人達と主人公の思い出や過去のことを表せていたし、キャストさんが感情表現やキャラの性格をうまく表せていたと思います。全体的に声が心地よく、聞き取りやすかったし、生の合唱や演奏があることで、さらに気持ちが伝わり、その世界に入りやすかったと思います。

舞台装置は、できるだけシンプルでありながら、教室ということが分かるように作られているので、参考になる、という意見が多く出ました。ホリが使えるように工夫された装置になっており、音響や照明のタイミングが完璧に思われました。

高校生でありがちな、やりたいこととやらなくてはならないことの間で揺れ動く主人公とその友人達…。講評委員の中からも「私自身、やりたいこと、好きなことを将来に活かしたいと思っていましたが友人や先生に相談をしたけれど挫折し、諦めてしまいました。私はこの劇を見て、自分のやりたいことに正直に向き合うことの必要性、友情の大切さを改めて考えさせられました！挫折をした自分と主人公の女の子…は何だか似ているなと感じました。私も本当はこれがやりたいけどやれないし…とか、これをやりたいけど先生に向いてないと言われたから…などと自分の実力をちゃんと考えたりしなかったり、人に言われたことを気にしてやらなかったりしたことがたくさんありました。嫌なこと、嫌いなことから逃げて逃げてばかりいました。だけど、今回の大垣西高校さんの劇を見て何事も逃げないで立ち向かうことの重要さを学びました。今後、自分の苦手なことや嫌いなことなどと向き合わなくてはいけなくなった時に大垣西高校さんの劇を思い出して逃げずに頑張りたいなと決心しました。」という共感の意見がありました。

主人公の《奏》役の演技が特に上手くて、やりたいのに自信が無くて、ためらってしまう気持ち、「自分がやりたいと言ったわけじゃない」と言い訳してしまう気持ち、母との葛藤など、「自分にもある」と思える役作りだと思いました。だから、最後の合唱・演奏は心に迫るものがありました。「認めてくれる人がいるから、できる。」そんなメッセージが伝わりました。

大垣西高校さん、素敵な劇を披露していただき本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした！

◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽ ☆ ◎ □ △ ○ ▽